

平成28年度
事業報告書

社会福祉法人息吹

平成28年度社会福祉法人息吹事業報告

《総括事項》

1 日中活動系事業について

もみじの家の課題と法人全体の利用者の状況とを考慮して、もみじの家を就労継続支援B型から生活介護に事業転換するための準備を行い、平成29年4月から事業実施を行うこととなった。

2 グループホームの拡充について

自立に向けた訓練の場や社会的入院者の退院先の受け皿としてニーズの高かったグループホームの増床について、27年度中に確保した物件に係る行政手続きや事業実施のための改修整備を行い、28年5月から事業実施している。

3 パオみのおの相談支援事業について

27年度に引き続き、計画相談支援と地域移行・定着支援、委託相談支援事業の相談件数については減少となった。求められているサービスの量に対して、マンパワーが不足している現状である。

4 利用者及び家族の高齢化について

少子高齢化の影響は、精神障害者の日常生活及び社会生活に多様な問題となって表れている。当法人が事業運営のなかで認識している課題としては、精神障害当事者本人の高齢化、家族の高齢化によって家族が担えなくなった本人への支援体制の変化、逆に家族の高齢化によって家族への家事や介護などを本人が担うことの負担や不安の高まりの3点に整理できる。

こうした課題への対応としては、本人や家族のニーズに基づきながら、障害福祉サービスだけでなく高齢福祉サービスや民生委員児童委員、その他の地域のインフォーマルサービスを活用しつつ、成年後見制度を始めとした権利擁護の制度も含めて柔軟に取り組んでいく必要がある。

5 地域交流啓発に関する取組みについて

24年度から萱野北小学校で実施している精神障害者理解促進事業ハートパークについては、萱野北小学校で5年連続の開催となった。事業内容については、大きな変更は無く、定着した形となっている。また地域向けの事業として、1月に発達障害の学習会を実施した。

6 社会福祉法人制度改革について

平成28年4月1日に施行された改正社会福祉法は、公益性・非営利性を確保する観点から制度を見直し、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底する社会福祉法人制度始まって以来の抜本的な改革と言われている。本法人においても法の趣旨に基づいて適切な対応と準備に取り組んだ。新定款には、法人の新たな理念を謳っている。

《事業別報告》

1 理事会・評議員会開催状況

(1)理事会開催状況(全5回)

第1回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成28年5月23日(月) 午後3時00分から

第1号議案 社会福祉法人息吹福祉・介護職員処遇改善加算一時金及び職員処遇改善一時金の支給に関する規程制定について承認を求める件

第2号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくかたばみ寮(共同生活援助)運営規程一部改正について承認を求める件

第3号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくもみじの家(就労継続支援B型)運営規程一部改正について承認を求める件

第4号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくあっとほーむ(就労継続支援B型)運営規程一部改正について承認を求める件

第5号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくシェスタ(就労継続支援B型)運営規程一部改正について承認を求める件

第6号議案 平成27年度社会福祉法人息吹事業報告及び決算認定の件

第2回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成28年9月26日(月) 午後3時00分から

第7号議案 給与規程一部改正について承認を求める件

第8号議案 社会福祉法人息吹 パオみのお(特定相談支援事業)運営規程一

- 部改正について承認を求める件
- 第9号議案 社会福祉法人息吹 パオみのお(地域移行支援及び地域定着支援事業)運営規程一部改正について承認を求める件
- 第10号議案 社会福祉法等の一部を改正する法律の公布及び施行に伴う作業について承認を求める件
- 第11号議案 就労継続支援B型事業所もみじの家の事業転換について承認を求める件

第3回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成28年11月28日(月) 午後3時00分から

- 第12号議案 平成28年度社会福祉法人息吹補正予算(案)について承認を求める件
- 第13号議案 就労継続支援B型事業所あつとほ一む固定資産(車両)の取得について承認を求める件

第4回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成29年1月23日(月) 午後3時00分から

- 第14号議案 社会福祉法人息吹定款の全部改正について承認を求める件
- 第15号議案 社会福祉法人息吹評議員選任・解任委員会運営細則制定について承認を求める件
- 第16号議案 社会福祉法人息吹役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程制定について承認を求める件
- 第17号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくもみじの家(生活介護)運営規程制定について承認を求める件
- 第18号議案 社会福祉法人息吹評議員候補者について承認を求める件
- 第19号議案 社会福祉法人息吹評議員選任・解任委員の選任について

第5回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成29年3月13日(月) 午後3時00分から

- 第20号議案 定款変更に伴う関係規程等の一部改正について承認を求める件
- 第21号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくもみじの家(生活介護)運営規程の一部改正について承認を求める件
- 第22号議案 平成28年度社会福祉法人息吹補正予算(案)について承認を求める件

第23号議案 平成29年度社会福祉法人息吹事業計画(案)及び予算(案)について承認を求める件

第24号議案 社会福祉法人息吹施設長任命について承認を求める件

(2)評議員会開催状況(全5回)

第1回評議員会

開催日時:平成28年5月23日(月) 午後2時00分から

第1号議案 社会福祉法人息吹福祉・介護職員処遇改善加算一時金及び職員処遇改善一時金の支給に関する規程制定について意見を求める件

第2号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくかたばみ寮(共同生活援助)運営規程一部改正について意見を求める件

第3号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくもみじの家(就労継続支援B型)運営規程一部改正について意見を求める件

第4号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくあっとほーむ(就労継続支援B型)運営規程一部改正について意見を求める件

第5号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくシエスタ(就労継続支援B型)運営規程一部改正について意見を求める件

第6号議案 平成27年度社会福祉法人息吹事業報告及び決算について意見を求める件

第2回評議員会

開催日時:平成28年9月26日(月) 午後2時00分から

第7号議案 給与規程一部改正について意見を求める件

第8号議案 社会福祉法人息吹 パオみのお(特定相談支援事業)運営規程一部改正について意見を求める件

第9号議案 社会福祉法人息吹 パオみのお(地域移行支援及び地域定着支援事業)運営規程一部改正について意見を求める件

第10号議案 社会福祉法等の一部を改正する法律の公布及び施行に伴う作業について意見を求める件

第11号議案 就労継続支援B型事業所もみじの家の事業転換について意見を

求める件

第3回評議員会

開催日時:平成28年11月28日(月) 午後2時00分から

第12号議案 平成28年度社会福祉法人息吹補正予算(案)について意見を求める件

第13号議案 就労継続支援B型事業所あつとほ一む固定資産(車両)の取得について意見を求める件

第4回評議員会

開催日時:平成29年1月28日(月) 午後2時00分から

第14号議案 社会福祉法人息吹定款の全部改正について意見を求める件

第15号議案 社会福祉法人息吹評議員選任・解任委員会運営細則制定について意見を求める件

第16号議案 社会福祉法人息吹役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程制定について意見を求める件

第17号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくもみじの家(生活介護)運営規程制定について意見を求める件

第5回評議員会

開催日時:平成29年3月13日(月) 午後2時00分から

第18号議案 定款変更に伴う関係規程等の一部改正について意見を求める件

第19号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくもみじの家(生活介護)運営規程の一部改正について意見を求める件

第20号議案 平成28年度社会福祉法人息吹補正予算(案)について意見を求める件

第21号議案 平成29年度社会福祉法人息吹事業計画(案)及び予算(案)について意見を求める件

第22号議案 社会福祉法人息吹施設長任命について意見を求める件

第23号議案 社会福祉法人息吹理事選任の件

2 地域交流啓発事業

4月25日(月)～28日(水)

ガレッジセール(シエスタ)

- 6月11日(土) 春のバザー出店
- 6月24日(金) ハートパーク(萱野北小学校ワークショップⅠ)
- 7月3日(日) 南小学校「みなみパワフルランド」出店
- 7月5日(火)、7日(木)、8日(金)、12日(火)
ハートパーク(萱野北小学校もみじの家施設体験)
- 7月14日(木) ハートパーク(萱野北小学校ワークショップⅡ)
- 7月22日(金) みのおライフプラザ夏まつり出店
- 7月23日(土)～7月24日(日) 箕面地区納涼の夕べ出店
- 7月30日(土)～7月31日(日) 箕面まつり出店
- 8月6日(土) 東小祭り出店
- 8月19日(金) あかつき福祉会納涼祭出店
- 8月20日(土) 萱野東小地区盆踊り大会出店
- 12月1日(木) こころの会交流会
- 12月22日(木) みのおライフプラザ冬まつり出店
- 1月21日(土) ハートパーク(萱野北小会館・発達障害に関する学習会)
- 2月4日(土) もみじの家地域交流祭「いっぷく」

3 ボランティア・見学・実習の受入れ

(1) ボランティア・見学・実習の受入れ状況

ボランティア受入れ延べ人数	96人
学校関係体験実習受入れ延べ人数	23人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	72人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	90人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	50人

(2) 主な見学及び実習の受入れ機関等

箕面市新規採用職員研修、箕面市職員福祉体験学習、箕面市立萱野北小学校、箕面市、精神保健福祉ボランティアこころの会、箕面市、民生委員・児童委員、大阪バイオメディカル専門学校、大阪健康ほいく専門学校、花園大学

4 会議への派遣

- ・(社福)あかつき福祉会評議員会
- ・(社福)あかつき福祉会 グループホーム運営委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団採用検討委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団理事会
- ・(財)箕面市障害者事業団評議員会
- ・(財)箕面市障害者事業団自主事業運営委員会

- ・箕面市障害者市民施策推進協議会
- ・箕面市人権施策審議会
- ・箕面市地域自立支援協議会運営会議
- ・箕面市地域自立支援協議会相談支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会地域移行・定着支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会権利擁護部会
- ・箕面市地域自立支援協議会障害者就労系通所事業所 情報交換会
- ・アンテナショップ運営委員会
- ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会
- ・箕面市生活困窮者自立支援事業推進協議会
- ・精神障害者地域移行アドバイザー連絡会
- ・指定管理者評価員合議(箕面市立障害者福祉センターささゆり園)
- ・指定管理者評価員合議(箕面市立光明の郷ケアセンター)

5 職員研修実施状況

(1) 職場研修

- ・(社福)風媒花との合同研修
- ・(社福)風媒花との現場研修
- ・差別解消法に関する研修
- ・就労継続支援 B 型事業所現場研修(パオみのお職員対象)
- ・社会福祉法の改正に関する研修
- ・パワーハラスメントに関する研修
- ・施設コンフリクトに関する研修
- ・虐待防止に関する研修

(2) 主な参加研修

① 資格取得研修

- ・サービス管理責任者研修(介護)

② 業務能力開発のための研修

- ・感染症予防対策講習会
- ・新人職員のためのサービスマナーセミナー
- ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会定例会(計3回)
- ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会新任者研修(計2回)

③ 人権問題及びその他の研修

- ・大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修
- ・公正採用選考人権啓発推進新任・基礎研修

パオみのお(相談支援事業)事業報告

1 概要

障害福祉サービスを申請する全ての障害者が対象となるサービス等利用計画の作成については、新規受任をストップしているため計画作成件数とモニタリング件数は、前年度対比で減少している。

委託相談支援事業については、前年度に引き続き、相談件数は減少している。

地域移行・定着支援については、社会的入院解消に向けて、個別支援の強化だけでなく地域の受入体制整備への取り組みが必要である。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 計画相談における計画作成件数及びモニタリング件数については、現在の職員体制ではこれ以上の件数増を見込むことが困難な状況である。

(2) 地域移行・定着支援についても計画相談同様に、これ以上の件数増を見込むことが困難な状況である。地域の体制整備への取り組みとして、大阪府の精神障害者地域移行アドバイザー事業を受託して、地域自立支援協議会地域移行・定着支援部会を中心に取り組んだ。

(3) 委託相談件数の減少については、計画相談の新規受任をストップしていることと、マンパワーの不足が影響していると思われる。相談内容では、福祉サービスの利用に関する相談の比率が高いが、成年後見に関する相談が増えている。また、地域生活サポート事業については、居住サポート事業のニーズが増えている。

3 今後について

(1) 安定した職員体制の拡充へ向けた求人の取組みを継続するとともに、OJT等の研修を実施して人材育成に努める。

(2) 27年度から大阪府精神障害者地域移行アドバイザー事業を受託して、地域の体制整備のためのコーディネート業務を実施してきたが、同事業は28年度で廃止された。今後は、29年度から大阪府が配置する地域精神医療体制整備広域コーディネーターと連携しながら、基幹相談支援センターと連携して、地域自立支援協議会地域移行・定着支援部会で取り組んでいくこととなる。

4 主な活動実績

(1) 計画相談支援事業(指定特定相談支援事業)

(単位:件)

	28年度	27年度	前年度比
サービス等利用計画作成	99	130	76.2%
モニタリング	260	369	70.5%

(2) 地域相談支援事業(指定一般相談支援事業)

(単位:件)

	28年度	27年度	前年度比
地域移行支援	4	11	36.4%
地域定着支援	0	11	0%

(3) 相談支援事業実績(箕面市地域生活支援事業)

(単位:件)

	28年度	27年度	前年度比
相談支援	3,664	3,983	92.0%
地域生活サポート	242	169	143.2%

パオみのお(地域活動支援センター)事業報告

1 概要

前年度と比較すると新規登録者数が減少した。サービス利用計画の新規受任をストップしていることが要因の一つと考えられる。新規登録者については、登録後1年以内の就労継続支援B型事業所等への登録者が減少しており、前年度同様の傾向が続いている。

2 特筆すべき事項と課題

- (1)障害種別は多様化しており、特に発達障害、知的障害のある方の利用が増えている。
- (2)就労への志向が高い利用者は、法人内の就労継続支援B型事業所及び他の就労支援機関へ比較的短期間で移行されている。
- (3)就労系事業所等につながりにくい利用者においては、サロン利用を中心に当事者活動やレクリエーション等の余暇活動関連プログラムを活用して、日常生活の基盤作りを図っている。
- (4)グループワーク事業については、月2回の活動が定着し新規利用者についても安定した参加が認められた。

3 今後について

- (1)ニーズの高いパソコン教室については、大阪府ITステーションのITサポーター派遣を活用して毎月開催を継続する。
- (2)外出レクリエーションについては、生活介護事業所へ移行したもみじの家と連携して実施する。
- (3)多様化する利用者ニーズに対応するため、内部研修の実施や外部研修の積極的活用により職員育成に努める。

4 主な活動実績

- (1)当事者活動支援 168人(160人)
カメカメクラブ、魁スポーツ推進振興クラブ、カチカチクラブ、お菓子クラブ、当事者のみの外出レク(梅田ツアー)等
- (2)レクリエーション・プログラム活動 133人(126人)
 - ①レクリエーション：一泊旅行、とれとれクラブ(釣り)、花見、外食ショッピングツアー等
 - ②プログラム：パソコン教室、DVD鑑賞会、鍋パーティー等

(3)独自事業

- ①グループワーク事業 延利用者数 92人(81人)
- ②食事作り事業 延利用者数 373人(335人)
- ③送迎事業 延利用者数 70人(65人)

※(カッコ)内は昨年度実績

5 利用者状況

(1)利用実績

	28年度	27年度	前年比
延べ利用者数	3,452人	3,464人	99.7%
開所日数	307日	308日	99.7%
1日あたり平均利用者数	11.2人	11.2人	100%

(2)登録者数

(平成29年3月31日現在)

	28年度	27年度	前年比
男性	159人	157人	101.3%
女性	111人	108人	102.8%
合計	270人	265人	101.9%
新規登録者数	7人	15人	46.7%

(3)障害者福祉手帳所持者数

(平成29年3月31日現在)

	登録数	平均年齢	1級	2級	3級	その他	(重複)	なし
男性	159人	45.9歳	5人	73人	12人	13人	(3)	59人
女性	111人	45.2歳	4人	48人	11人	4人	(2)	46人
合計	270人	45.6歳	9人	121人	23人	17人	(5)	105人

かたばみ寮(共同生活援助)事業報告

1 概要

自立に向けた訓練の場や社会的入院者の退院先の受け皿としてニーズの高かった共同生活援助(以下「グループホーム」という。)の増床について、平成27年度中に確保した物件に係る行政手続きや事業実施のための改修整備を行い、28年5月から事業実施している。

2 特筆すべき事項と課題

- (1)ぶなの木荘建物の空き物件を新たなグループホームの住居として追加するため、事業指定手続きや改修整備を行い、平成28年5月に事業開始した。これにより、全体の定員が12人から14人となり、2人の定員増となった。
- (2)新たに追加した住居は、既に満室となっている。グループホームのニーズは依然として高く、さらなる拡充が望まれている。
- (3)個別支援計画については、6月に計画作成、12月にモニタリングを行っている。昨年度に引き続き、日中活動先の就労継続支援B型事業所及び地域活動支援センターとの連携強化を図りつつ計画を作成するよう留意した。
- (4)利用者の障害種別が精神障害だけでなく知的障害や発達障害など多様化しているとともに利用者の高齢化も進んでいる。
- (5)地域移行支援対象者にとってグループホームは、退院後の地域定着をすすめる上でも有効な社会資源であるため、退院後の生活の場として、さらに拡充する必要性が高まっている。

3 今後について

- (1)施設の拡充については、物件の確保だけでなく支援体制の確保も必要となってくる。
- (2)個別支援計画の目標に達していない利用者へのアプローチを関係施設、関係機関と連携をとりながら強化する。
- (3)障害種別の多様化と利用者の高齢化により、支援力の向上・強化が求められている。世話人・生活支援員の体制を見直すとともに、内部研修の実施や外部研修への参加を積極的に行っていく。
- (4)27年度から28年度にかけて、世話人、生活支援員に欠員が生じたため、新たな人材を確保した。職員の変更は、利用者の心理状態に大きな影響を及ぼす可能性があるため、引き続き世話人、生活支援員の資質向上に努める。

4 利用者状況(平成29年3月31日現在)

①利用者数

	定員	利用者
かたばみ寮	2人	2人
第2かたばみ寮	4人	2人
ぶなの木荘	5人	5人
第2ぶなの木荘	3人	3人
合計	14人	12人

②利用者の特性

平均年齢	51.5歳	
平均在籍年数	6年10ヶ月	
障害支援区分	区分2	4人
	区分3	6人
	区分4	2人

③利用者の日中活動先

もみじの家	3人
あつとほ一む	6人
シェスタ	0人
就労	1人
その他	2人

就労継続支援B型もみじの家事業報告

1 概要

就労継続支援B型事業所として、安全な就労環境を確保しつつ工賃向上が見込める主力作業のあり方を検討した結果、「ゆっくりした生活リズムのなかで仲間と楽しめる居場所」を新しいもみじの家のコンセプトにして、平成29年4月1日から障害者総合支援法に基づく生活介護事業所に事業転換することとした。

前年に引き続き精神障害者理解促進事業ハートパークの一環として、萱野北小学校の6年生を対象にもみじの家で自主製品のナイロンタワシの作製を通して交流をした。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

就労支援事業として受託作業を行い、利用者の働く機会の提供と就労意欲の向上にむけた支援を行った。また、ハローワークや就業・生活支援センターと連携を密にとり、求人情報や就職説明会情報の掲示や就労に関する相談の機会を増やす取り組みを行った。

28年度は1名の利用者が、雇用の就労継続支援A型事業所へとステップアップされた。

(2) 利用者支援

個別支援計画を作成し、年2回の定期面談を通して具体的な目標や取り組みを検討した。その結果、利用日数の増加したり、より長時間の作業に取り組めるなど就労意欲の向上につながった。

生活介護事業への転換に向けて、必要に応じて他機関と連携し、個人面談やケース会議等を通して本人のニーズに沿った支援を行った。もみじの家以外の福祉サービスを希望する利用者はスムーズに他事業所へ移行できるように支援を行った。

(3) その他

精神障害者理解促進事業ハートパークの一環として、萱野北小学校の6年生を対象にもみじの家で自主製品のナイロンタワシの作成を通して交流をした。また、恒例のもみじの家地域交流祭「いっぷく」において、約90名もの地域の来場者で賑わうなか交流を図った。

3 今後について

新年度から開始する生活介護支援の日中活動プログラムとして、医師・看護師による健康教室、外出レクリエーション、SST（社会生活技能訓練）、調理実習、音楽活動、生産活動（箕面市指定ごみ袋製袋作業）など多彩な活動を

利用者の意見を取り入れながら計画し支援を実施していく。また、4月当初から送迎サービスを実施するとともに、日常生活において保清が苦手な利用者を対象に簡易な入浴サービスの実施に向けて施設整備をする。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

①主な就労支援事業収入

事業内容	28年度	27年度	対前年度比
受託事業(箕面市ごみ袋製袋等)	3,118,991円	3,186,838円	97.9%
その他(自主製品)	56,500円	27,350円	206.6%
計	3,175,491円	3,214,188円	98.8%

②利用者一人当たりの月額平均工賃額

28年度	27年度	対前年度比
11,036円	13,697円	80.6%

③ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	42人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	5人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	33人
萱野北小学校体験実習受入れ延べ人数	52人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	10人

(2) その他の活動

- ①施設外活動(他市障害福祉サービス事業所交流会、箕面市精神保健福祉ボランティアグループこころの会交流会参加、市内お祭りへの出店参加)
- ②啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、もみじの家地域交流祭いっぷく)
- ③余暇活動(もみじの家忘年会実施)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

平成 29 年 3 月 31 日現在

項目	28年度	27年度	対前年度比
利用契約者数	25 人	24 人	104.2%
平均年齢	46.4 歳	45.1 歳	+1.3 歳
稼働日数	251 日	249 日	100.8%
延べ利用者数	3,304 人	3,288 人	100.5%
1 日平均利用者数	13.2 人	13.2 人	100.0%

(2) 障害者福祉手帳所持状況

平成 29 年 3 月 31 日現在(単位:人)

	利用者数	2 級	3 級	B1	B2	なし	重複
男	22	15	3	3	1	1	1
女	3	3					
合計	25	18	3	3	1	1	1

就労継続支援B型あっとほーむ事業報告

1 概要

個別支援計画において具体的な目標や取り組みを検討し、年2回のモニタリングを通して検証するとともに、関係機関との連携により生活及び就労に係る支援を実施した。

配食サービスでの安定した受注があったため、利用者の作業ペース及び作業内容に配慮した作業機会の提供ができた。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

配食サービスの収入はほぼ横ばいだったが、安定利用する利用者が例年よりも多かったため、月額平均工賃額が増えた。安定して毎日終日作業できる利用者が増えて生産性が上がる状況がある一方で、新規利用者が定着しないうちに辞めてしまう状況もあり、利用者状況は二極化している。

利用者数名が一般就労(就労継続支援A型事業を含む)にチャレンジするための準備を進めている。

(2) 個別支援計画

個別支援計画の作成や年2回のモニタリング及び随時の面談を通じて具体的な個別の支援を行った。成果としては、利用者の意思を尊重した短期目標の設定と課題達成のための取り組みを行うことにより、職業準備性の向上がみられ、企業や機関での実習や見学に繋がった。また、計画作成の過程で関係機関との連携が広がった。

(3) その他

公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団の施設整備等助成事業を活用して送迎及び配食サービスに使用する8人乗り車両1台を購入した。

3 今後について

もみじの家が就労継続支援B型から生活介護に事業転換したことに伴って、今後は就労系事業所としてこれまでより就労に軸足を移した支援を意識する。

就労支援事業について、効率的かつ効果的な事業運営をめざして、必要に応じた業務改善に努め、利用者の生活安定や就労のステップアップに資する事業体系を構築し続けていく必要がある。また、より地域に根ざした活動を行っていきけるよう、地域住民との交流を図り、地域のニーズを把握しつつ、事業経営を進めていく。

新規の利用者の受け入れについては、定員と利用契約者数のバランスを考慮しつつ、必要に応じて箕面市を始め、茨木市や池田市等の近隣の関係機関等への説明を行い、新規利用者の受け入れを行っていく。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

① 主な就労支援事業収入

事業内容	28年度	27年度	対前年度比
自主製品事業(ビーズ・陶芸)	840 円	2,700 円	31.1%
受託事業(もみじの茎切り)	60,980 円	113,646 円	53.6%
自動販売機管理	238,370 円	267,630 円	89.1%
配食サービス事業	12,598,690 円	12,458,395 円	101.1%
その他(印刷など)	119,550 円	275,232 円	43.4%
計	13,018,430 円	13,117,306 円	99.2%

② 利用者一人当たりの月額平均工賃額

28年度	27年度	対前年度比
21,501 円	16,991 円	126.5%

③ ボランティア・見学・実習参加状況

利用見学及び実習受入れ延べ人数	37 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	17 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	8 人

(2) その他の活動

- ① 施設外活動(他市障害福祉サービス事業所見学会、箕面市精神保健福祉ボランティアグループこころの会交流会参加、市内お祭りへの出店参加)
- ② 啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、もみじの家地域交流祭「いっぷく」への参加)
- ③ 余暇活動(あっとほーむ忘年会、新年会、茶話会、外出レクなど)
- ④ 専門指導研修(調理師による利用者向け、職員向け講習会)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

平成 29 年 3 月 31 日現在

項目	28年度	27年度	対前年度比
利用契約者数	30 人	28 人	107.1%
平均年齢	43.9 歳	41.3 歳	+2.6 歳
稼働日数	246 日	242 日	101.7%
延べ利用者数	3267 人	3329 人	98.1%
1 日平均利用者数	13.5 人	13.8 人	97.8%

(2) 障害者福祉手帳所持状況

平成 29 年 3 月 31 日現在(単位:人)

	利用者数	1 級	2 級	3 級	B 1	B 2	身体 6 級	重複	なし
男	16	0	11	1	2	0	0	0	2
女	14	2	11	0	1	2	1	4	1
合計	30	2	22	1	3	2	1	4	3

就労継続支援B型シエスタ事業報告

1 概要

就労支援事業については、主力の焼き菓子販売の大口受注減少が原因で収入・工賃ともに減少した。利用者の入れ代わりが多いうえ、安定通所できる利用者が少なかったことで生産量が減少したことも影響した。

利用者の支援に関しては、個別支援計画を作成し、年2回のモニタリングをすることによって具体的な目標や取り組みを検討し、効果的な就労支援の提供に努めた。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

優先調達事業の取り組みとして箕面市競艇事業局から注文があり、後日大変好評であったとの報告があったが、それ以外の大口の注文を受注出来ず、全体的に就労支援事業収入が減額となった。

商品開発については、季節限定商品の製造に取り組むとともに、専門家からの指導を受け新商品の開発を行った。

利用者が作業しやすい安全な環境づくりにも工夫し、作業分担、作業時間等について、各々の体調やニーズ等をもとに改善を続けることが重要である。

(2) 個別支援計画

利用者個人の面談を通し、個別支援計画の作成と年2回のモニタリングを行い、具体的な個別の支援を行った。このことによって、短期的な目標設定と利用者の意思確認を行い、他機関への実習や見学、関係機関との連携強化といった成果につながった。モニタリング以外でも、都度必要に応じて面談等を行い、利用者の日常生活の悩みの解決を行った。

(3) 利用者の状況

平成28年度も、利用者の入れ代わりが多く、全体的には利用人数は増えたが、安定して通所できる利用者が少なかったため、平均利用者数はほとんどかわらなかった。新規利用者が増加したことで作業に不慣れな方が増え、若干の生産量減少があったことに加え、昨年のような大口の注文を得ることができず就労支援事業収入も減額となってしまった。それにより月額平均工賃目標額を上回ることが出来ず2割減となった。

3 今後について

平成29年度は喫茶の利用客を増やすために、チラシの作成やポスティングなどを行う一方、就労支援事業としてだけではなく、地域住民との交流や啓発活動としてガレッジセール開催など工夫を凝らしながら、地域に根ざした活動を行う。また、喫茶のメニューにおいても、新たに箕面産ゆずを使用したケーキセットを追加する等の充実を図る。

商品開発については、新商品及び季節限定商品の研究開発、リサーチや顧客満足度調査などに取り組むとともに、一方で環境の変化を苦手とする利用者が新商品の製造作業にそれぞれのペースで取り組めるよう、作業支援の強化も行う必要がある。

焼き菓子の新商品開発や喫茶メニューの充実によって就労支援事業の内容が拡充することで、利用者の作業内容も多様化し職域拡大が想定されるため、新規利用者の受け入れについても関係機関等へのチラシ配布などを行いながら進めていく。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

① 主な就労支援事業収入

事業内容	28年度	27年度	対前年度比
焼き菓子販売	3,898,917 円	4,108,926 円	94.9%
委託事業(もみじの茎切り等)	240,000 円	220,000 円	109.1%
計	4,138,917 円	4,328,926 円	95.6%

② 利用者一人当たりの月額平均工賃額

28年度	27年度	対前年度比
12,092 円	14,454 円	83.7%

③ ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	5 人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	28 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	18 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	3 人

(2) その他の活動

- ①施設外活動(市内小学校イベント参加、箕面市精神保健ボランティアグループこころの会交流会参加、春のバザー、市内お祭りへの出店参加)
- ②啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、もみじの家地域交流祭「いっぶく」)
- ③余暇活動(なかよし会年2回実施)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

平成29年3月31日現在

項目	28年度	27年度	対前年度比
利用契約者数	23人	19人	121.1%
平均年齢	43歳	35歳	+8歳
稼働日数	246日	244日	100.8%
延べ利用者数	2,820人	2,737人	103.0%
1日平均利用者数	11.4人	11.1人	102.7%

(2) 障害者福祉手帳所持状況

平成29年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	1級	2級	3級	A	B1	B2	重複	身体3級
男	8	1	6	1	0	0	1	1	0
女	15	0	9	3	1	1	0	0	1
合計	23	1	15	4	1	1	1	1	1